



目次

注意事項

ご利用の準備

基本操作

電話

機能設定

付録

htc U11

クイックスタートガイド

ごあいさつ

このたびは、HTC U11 HTV33(以下、「HTV33」または「本製品」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

ご使用の前に『クイックスタートガイド』(本書)をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。

- 本書では『クイックスタートガイド』(本書)および『設定ガイド』、auホームページからダウンロードできる『取扱説明書 詳細版』を総称して『取扱説明書』と表記します。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。

■ 本体

- HTV33



■ 付属品

- USB-Cハイレゾイヤホン(試供品)
- SIM取り出しピン(試供品)
- クリアケース(試供品)
- USB-C to 3.5mmデジタルジャックアダプタ(試供品)
- クイックスタートガイド(本書)
- 設定ガイド



memo

- ◎ 本体保護のため、付属のクリアケース(試供品)をご利用ください。
- ◎ ACアダプタ、USB Type-Cケーブル、microSDメモ리카ードは同梱されていません。
- ◎ 指定の充電用機器(別売)をお買い求めください。
- ◎ 電池は本製品に内蔵されています。
- ◎ 本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

取扱説明書について

■『設定ガイド』『クイックスタートガイド』(本書)

主な機能の主な操作のみ説明しています。

■『取扱説明書アプリ』

本製品では、本体内で詳しい操作方法を確認できる『取扱説明書アプリ』を利用できます。

ホーム画面で[■]→[auサポート]→[取扱説明書]



- ・初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリをダウンロードして、インストールする必要があります。

■『取扱説明書 詳細版』

さまざまな機能のより詳しい説明を記載した『取扱説明書 詳細版』は、auホームページでご確認できます。

<https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/>

■ For Those Requiring an English Instruction Manual 英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the "Basic Manual" from the au website (available from approximately one month after the product is released).

『取扱説明書・抜粋(英語版)』をauホームページに掲載しています(発売約1ヶ月後から)。

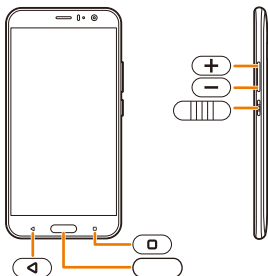
Download URL:

<https://www.au.com/english/support/manual/>

本書の表記方法について

■ 掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を次のように簡略化しています。



■ 項目／アイコン／キーなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。

表記例	意味
ホーム画面で [電話]→ 「141」を入力→ [ダイヤル]	ホーム画面で[電話]を タップし、続けて[1][4][1]の 順にタップして、最後に[ダイヤル] をタップします。
[] を約2秒 以上長押しする	[] を約2秒以上押し続け ます。
[ON]／[OFF]	スライダースイッチをタップして [ON] (●)または[OFF] (●)にします。

※ タップとは、ディスプレイに表示されているキーやアイコンを指で軽く触れて選択する操作です。

■ 掲載されているイラスト・画面表示について

本書に記載されているイラストおよび画面は、実際の製品および画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。



memo

- ◎ 本書では、「au Nano IC Card 04」の名称を「au ICカード」と表記しています。
 - ◎ 本書では「microSD™メモリカード」、「microSDHC™メモリカード」、「microSDXC™メモリカード」の名称を「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。
 - ◎ 本書では「アプリケーション」のことを「アプリ」と省略しています。
 - ◎ 本書はau ICカードを取り付けた状態の画面表示・操作方法となります。
 - ◎ 本書では、本体カラー「プリリアント ブラック」の表示を例に説明しています。
 - ◎ 本書で明記していない場合は、縦画面表示からの操作を基準に説明しています。横画面表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどが異なる場合があります。
 - ◎ 本書に表記されている金額は特に記載のある場合を除きすべて税抜です。
 - ◎ 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、®マークを省略している場合があります。
-

目次

目次

ごあいさつ.....	ii
同梱品一覧.....	1
取扱説明書について	2
本書の表記方法について	3

目次	6
----------	---

注意事項.....	9
-----------	---

本製品のご利用について	10
安全上のご注意（必ずお守りください）.....	14
材質一覧.....	30
取り扱い上のお願い.....	32
防水／防塵性能に関する注意事項	40
Bluetooth [®] ／無線LAN（Wi-Fi [®] ）機能について	48
各種暗証番号／PINコード.....	52
データ通信料についてのご注意	54
アプリについて	55
アプリのアクセス権限を設定する	56
マナーも携帯する	57

ご利用の準備	59
--------------	----

各部の名称と機能	60
au ICカードについて.....	63
au ICカードを取り付ける／取り外す.....	64
microSDメモ리카ードを取り付ける／取り外す	67
充電する	72
電源を入れる／切る.....	74
スリープモードについて	76
ロック解除について.....	76
エッジセンスについて.....	77
イヤホンを使用する.....	78

基本操作 81

ホーム画面について	82
アプリを起動する	86
本製品の状態を知る	88
メニューを表示する	92
ソフトウェアキーボードを切り替える	92
マナーモード／サイレントモードを設定する	93
機内モードを設定する	93

電話 95

電話をかける	96
電話を受ける	98
自分の電話番号を確認する	99

機能設定 101

設定メニューを表示する	102
エッジセンスの初期設定を行う	105

付録 107

ソフトウェアを更新する	108
故障とお考えになる前に	110
アフターサービスについて	112
SIMロック解除について	118
周辺機器のご紹介	118
主な仕様	119
携帯電話機の比吸収率（SAR）について	121
FCC Notice	124
FCC RF exposure information	125
Body-worn operation	126
DECLARATION OF CONFORMITY	127
輸出管理規制	129
知的財産権について	129

注意事項

本製品のご利用について	10
安全上のご注意(必ずお守りください)	14
材質一覧	30
取り扱い上のお願い	32
防水／防塵性能に関する注意事項	40
Bluetooth [®] ／無線LAN(Wi-Fi [®])機能について	48
各種暗証番号／PINコード	52
データ通信料についてのご注意	54
アプリについて	55
アプリのアクセス権限を設定する	56
マナーも携帯する	57

本製品のご利用について

本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。

故障とお考えになる前に、「トラブル診断」を行ってください。

注意事項

ホーム画面で[■]→[auサポート]→[故障紛失サポート]→[トラブル診断]

または、以下のauホームページの「トラブル診断」で症状をご確認ください。

<https://www.au.com/trouble-check/>

- サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル・地下など）では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご注意ください。（ただし、LTE／WiMAX 2+／UMTS／GSM方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております。）
- 日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、auのVoLTE（LTEネットワーク）を利用します。3G（回線交換ネットワーク）を利用しての接続はできません。
- 本製品はau世界サービス対応の携帯電話ですが、各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。

- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があります、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
- 海外でご利用される場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害(記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

- 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に登録された連絡先・メール・ブックマークなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されたコンテンツデータ(有料・無料を問わない)などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。

- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 撮影などした写真／動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンなどに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品(オプション品含む)の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収をおこなっております。

※ 本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。

発売元: KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)

輸入元: HTC NIPPON株式会社

製造元: HTC Corporation




memo

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示の説明

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※ ¹ を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※ ¹ を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷※ ² を負う可能性が想定される場合および物的損害※ ³ の発生が想定される」内容です。

※1 重傷：失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。

※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指します。

■ 禁止・強制の絵表示の説明

 禁止	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。	 水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 ぬれ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。	 指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	 プラグをコンセントから抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

注意事項

■ 本体、充電用機器、au ICカード、周辺機器共通



危険

必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。



禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水・防塵性能については以下をご参照ください。

▶P.40「防水／防塵性能に関する注意事項」



禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れた状態では、充電しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水・防塵性能については以下をご参照ください。

▶P.40「防水／防塵性能に関する注意事項」



分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水ぬれ禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水・防塵性能については以下をご参照ください。

▶P.40「防水／防塵性能に関する注意事項」



水ぬれ禁止

外部接続端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水・防塵性能については以下をご参照ください。

▶P.40「防水／防塵性能に関する注意事項」



指示

オプション品は、auが指定したものを使用してください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



警告

必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災、やけどなどの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本製品の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。(NFC／おサイフケータイロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください。)



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。

- ・ 電源プラグをコンセントから抜く。
- ・ 本製品の電源を切る。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



注意

必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。



禁止

破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。パイプレータ設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
▶P.40「防水／防塵性能に関する注意事項」



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
けがなどの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
誤って飲み込んだり、けが、感電などの原因となります。



指示

本製品を長時間連続使用される場合や充電中は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようにご注意ください。

アプリ、通話、データ通信、動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本製品や指定の充電用機器(別売)の温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

注意事項

■ 本体について



危険

必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。

電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

釘(鋭利なもの)を刺したり、ハンマー(硬いもの)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。

電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

内蔵電池内部の物質などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

内蔵電池内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。



指示

ディスプレイ内部の物質などが目や口の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

ディスプレイ内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。



警告

必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。



禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。



禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯、発光しないでください。運転の妨げとなり、事故などの原因となります。



禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。けいれんや意識喪失などの原因となります。



禁止

au Nano IC Card 04 / microSDメモリカードトレイの挿入口に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

また、au ICカードやmicroSDメモリカードの挿入場所や向きを間違えないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないでください。

レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切るか、機内モードに設定してください。航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。

なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、本製品の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

ハンズフリーに設定して通話するときや、着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本製品を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどを本製品に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると難聴などの原因となります。

また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上で使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

注意事項



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本製品の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意ください電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本製品の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ペットなどが本製品に噛みつかないようにご注意ください。

内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



注意

必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。



禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

失明や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

注意事項



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火による火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。

不要となった本製品は、auショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

内蔵電池内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

失明や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質について▶P.30「材質一覧」



指示

本製品の受話口(レシーバー)およびスピーカー部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

■ 充電用機器について



警告

必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。



禁止

指定の充電用機器(別売)のコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

指定の充電用機器(別売)は、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、指定の充電用機器(別売)には触れないでください。

感電などの原因となります。



禁止

コンセントにつないだ状態で接続端子をショートさせないでください。また、接続端子に手や指など、身体の一部に触れさせないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

指定の充電用機器(別売)のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

コンセントに指定の充電用機器(別売)を抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

指定の充電用機器(別売)に海外旅行用の変圧器(トラベルコンバーター)を使用しないでください。

発火、発熱、感電などの原因となります。



禁止

本製品に指定の充電用機器(別売)を接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



ぬれ手禁止

濡れた手で指定の充電用機器(別売)のコードや接続端子、電源プラグに触れないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。

誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。

ACアダプタ(別売): AC100V~240V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)

※海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタを使用してください。



指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の充電用機器(別売)をコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

電源プラグをコンセントから抜く場合は、指定の充電用機器(別売)のコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタ本体を持って抜いてください。

指定の充電用機器(別売)のコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

本製品に指定の充電用機器(別売)を抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。

正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。

接続端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



プラグをコンセントから抜く

使用しない場合は、指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



プラグをコンセントから抜く

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が入った場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。



注意

必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。



禁止

コンセントにつないだ状態で指定の充電用機器(別売)に長時間触れないでください。やけどなどの原因となります。

■ au ICカードについて



注意

必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。



指示

au ICカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。けがなどの原因となります。

■ イヤホンについて



警告

必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。



禁止

自転車や自動車などの運転中や歩きながらのゲームや音楽再生に使用しないでください。安全性を損ない事故の原因となります。



注意

必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。



指示

ゲームや音楽再生などをする場合は、適度な音量に調節してください。

音量が大きすぎたり長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。

適度な音量であっても長時間の使用によっては難聴になるおそれがあります。

また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。



指示

音量を調節する場合は、少しずつ上げて調節してください。

始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳に悪い影響を与えるおそれがあります。



指示

皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質について▶P.30「材質一覧」

■ SIM取り出しピン(試供品)について



警告

必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。



禁止

SIM取り出しピン(試供品)の先端部は、尖っています。本人や他の人に向けて使用しないでください。

本人や他の人に当たり、けがや失明の原因となります。



注意

必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。



指示

皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質について▶P.30「材質一覧」



指示

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。

誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。

注意事項

■ 医療機器近くおよび医療機関内でのご使用について



警告

必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。



指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本製品を15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本製品を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。

付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

■ 本体

使用箇所	使用材料	表面処理
背面カバー	ガラス	OPVD+塗装処理+AFコート処理
カメラレンズ	ガラス	AFコート処理+ARコート処理
カメラレンズ飾り	アルミニウム	アルマイト処理
フラッシュレンズ	ポリカーボネート樹脂	—
ディスプレイ	ガラス/ Corning [®] Gorilla [®] Glass 5	AFコート処理
保護シート(ディスプレイ)	ポリカーボネート	—
ベセル	アルミニウム	アルマイト処理

使用箇所	使用材料	表面処理
au Nano IC Card 04 / microSDメモ리카ードトレイ	アルミニウム	アルマイト処理
	ポリカーボネート樹脂	—
音量キー	アルミニウム	アルマイト処理
電源キー	アルミニウム	アルマイト処理
ホームキー / 指紋スキャナ	エポキシ樹脂	UV塗装

■ USB-Cハイレゾイヤホン(試供品)

使用箇所	使用材料	表面処理
ハウジングカバー	アルミニウム	—
	ABS樹脂	—
ケーブル / イヤーピース	熱可塑性エラストマー	—
接続プラグ(金属部)	ステンレススチール	—
スイッチ	ABS樹脂	—

■ SIM取り出しピン(試供品)

使用箇所	使用材料	表面処理
SIM取り出しピン本体	ステンレススチール	—

■ クリアケース(試供品)

使用箇所	使用材料	表面処理
クリアケース本体	ポリカーボネート	—

■ USB-C to 3.5mmデジタルジャックアダプタ(試供品)

使用箇所	使用材料	表面処理
ハウジングカバー	熱可塑性エラストマー	—
イヤホンマイク端子(金属部) / USB接続プラグ(金属部)	ステンレススチール	ニッケルメッキ

取り扱い上のお願い

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、au ICカード、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重いものの下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。

また、外部接続機器を外部接続端子やステレオイヤホン端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。

- 本製品の防水性能(IPX7相当)を発揮するために、au Nano IC Card 04 / microSDメモ리카ードトレイをしっかりと取り付けた状態で、ご使用ください。

ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に水を浸入させたり、充電用機器やオプション品に水をかけたりしないでください。雨の中や水滴がついたままのau Nano IC Card 04 / microSDメモ리카ードトレイの取り付け／取り外しは行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。

- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。
(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。)
- 充電用機器
- 周辺機器

- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。
(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。ただし、36℃～40℃であれば一時的な使用は可能です。)
 ・ HTV33本体
 ・ au ICカード(HTV33本体装着状態)
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- 外部接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて外部接続端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤、ガラスクリーナーなどで拭くと、外装の印刷が消えたり、故障の原因となります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障の原因となります。
- 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、故障の原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高压容器に入れないでください。故障の原因となります。

- お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障の原因となります。また、本製品の改造は電波法および電気通信事業法違反になります。
- 外部接続端子やステレオイヤホン端子をショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、それらの異物が内部に入らないようにしてください。故障の原因となります。
- 充電中に濡れた場合には直ちに指定の充電用機器（別売）の電源プラグを抜いてください。
- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中や歩きながらの使用はしないでください。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- かばんの中や布団などで覆われた状態での使用や充電は故障の原因となります。
- 充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、故障の原因となります。
- カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所で使用、保管、放置しないでください。故障の原因となる場合があります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。充電中やバイブレーション設定中は特にご注意ください。落下して、故障などの原因となります。
- 本製品を充電する際は、たこ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。

■ 本体について

- 本製品の電池は内蔵されており、お客様自身では交換できません。電池の交換については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- キーやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けしないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの(爪／ボールペン／ピンなど)を押し付けたりしないでください。
- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法に抵触します。
本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等を受けており、その証として、「技適マーク」がau電話本体内で確認できるようになっております。
確認方法
ホーム画面で[]→[設定]→[バージョン情報]→[法規情報]→[認証]
本製品本体を分解して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- キャッシュカード・クレジットカード・プリペイドカードなどの磁気カードを近づけたりしないでください。記録内容が消失する場合があります。

- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります（結露といいます）。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- microSDメモ리카ードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 近接光センサーを指でふさいだり、近接光センサーの上にシールなどを貼ると、周囲の明暗にセンサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 近接光センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤動作し着信中や通話中にディスプレイの表示が常に消え、操作が行えなくなる場合がありますのでご注意ください。
- 本製品内のau Nano IC Card 04／microSDメモ리카ードトレイの挿入口に液体、金属体などの異物を入れないでください。故障の原因となります。
- 落下させる、投げつける、踏みつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。受話口、送話口、スピーカー部などに砂などが入り音が小さくなったり、本製品本体内に砂などが混入すると故障の原因となります。

■ タッチパネルについて

- ディスプレイにシールやシート類（市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど）を貼ると、タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。

- ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

■ 内蔵電池について

(本製品の内蔵電池は、リチウムポリマー電池です。)



Li-ion 00

内蔵電池はお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。また、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。

- 夏期、閉めきった(自動車)車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では内蔵電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 内蔵電池は充電後、本製品を使わなくても少しずつ放電します。長い間使わないでいると、内蔵電池が放電してしまっている場合があるため、使う前に充電することをおすすめします。
- 内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめください。電池は内蔵型のため、auショップなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などにより異なります。
- 内蔵電池は、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムポリマー電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■ 充電用機器について

- 指定の充電用機器(別売)の電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。また、充電用機器(別売)のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。アダプタやコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。

注意事項

- 指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷するおそれがあります。

■ au ICカード／トレイについて

- au Nano IC Card 04／microSDメモ리카ードトレイの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau 電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどに、au ICカードを挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au ICカードおよびトレイにシールなどを貼らないでください。
- カードに損傷を与えるようなこと(高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかける、濡らすなど)はしないでください。データの消失や故障の原因となります。

■ カメラ機能について

- 大切な撮影などをするときには、事前に試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。

■ 著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。
また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

- 撮影したフォトなどをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

＜本製品の記録内容の控え作成のお願い＞

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。

防水／防塵性能に関する注意事項

注意事項

本製品はau Nano IC Card 04／microSD メモリカードトレイが完全に取り付けられた状態で保護等級(JIS C 0920)のIPX7相当※¹の防水性能およびIP6X相当※²の防塵性能を有しております(当社試験方法による)。正しくお使いいただくために、「ご使用にあたっての重要事項」の内容をよくお読みになってからご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障のおそれがあります。

※1 IPX7相当とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mの水槽に静かに本製品を沈めた状態で約30分間、水底に放置しても本体内部に浸水せず、電話機としての性能を保つことです。

※2 IP6X相当とは、直径75μm以下の塵埃(じんあい)が入った装置に電話機を8時間入れて攪拌(かくはん)させ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全に維持することを意味します。

すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

■ ご使用にあたっての重要事項

- au Nano IC Card 04／microSDメモリカードトレイをしっかりと取り付けた状態にしてください。完全に取り付けていることで防水／防塵性能が発揮されます。
- 手や本製品が濡れている状態でのau Nano IC Card 04／microSDメモリカードトレイの取り付け／取り外しは絶対にしないでください。
- 水道水以外の液体(海水、プールの水、温泉の湯、石けん、洗剤、入浴剤の入った水、アルコール、ジュース、調味料など)に浸けたり、かけたりしないでください。
また、ペットの尿がかかる場所での使用はしないでください。
かかった場合には、速やかに水道水で洗い流してください。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。受話口、送話口、スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなったり、本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。
- 水中で使用しないでください。
- 風呂場、台所など、湿気の多い場所での長時間の使用、保管はしないでください。
- 水抜き後も、水分が残っている場合があります。ご使用にはさしつかえありませんが、濡れては困るもののそばには置かないでください。また、服やかばんの中などを濡らすおそれがありますのでご注意ください。



砂／泥

- 送話口、受話口、スピーカー、セカンドマイク、サードマイク、フォースマイクに水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなった場合は水抜きを行ってください。
- 耐水圧設計ではないので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- 湯船には浸けないでください。耐熱設計ではありません。
- 急激な温度変化は、結露が発生し、故障の原因となります。寒い場所から暖かい風呂場などに本製品を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。
- 本製品は水に浮きません。

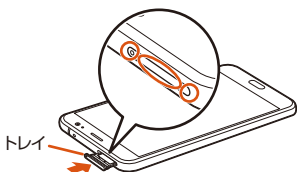
■ au Nano IC Card 04／microSDメモリカードトレイについて

- au Nano IC Card 04／microSDメモリカードトレイはしっかりと取り付けた状態にしてください。本体とトレイの接触面に微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると水や粉塵が侵入する原因となります。
- au Nano IC Card 04／microSDメモリカードトレイを取り付け／取り外しする際は手袋などをしたまま操作しないでください。本体とトレイの接触面は微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると水や粉塵が侵入する原因となります。トレイを取り付ける際、わずかでも水滴・汚れなどが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取ってください。

- au Nano IC Card 04／microSDメモリカードトレイに劣化・破損があるときは、防水／防塵性能を維持できません。

■ au Nano IC Card 04／microSDメモリカードトレイの取り付けかた

矢印の方向へau Nano IC Card 04／microSDメモリカードトレイを奥まで押し込んで○部分をしっかりと押し、本体とトレイにすき間がないことを確認してください。



■ 水以外が付着した場合

- 万一、水以外(海水・洗剤・アルコール・ジュースなど)が付着してしまった場合、すぐに水で洗い流してください。
- やや弱めの水流(6リットル／分以下)で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温(5℃～35℃)の水道水で洗えます。
- 汚れた場合、ブラシなどは使用せず、au Nano IC Card 04／microSDメモリカードトレイが外れないように押さえながら手で洗ってください。

■ 水に濡れた後は

- 水濡れ後は水抜きをし、乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。

- 寒冷地では本製品に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因となります。水滴が付着したまま放置しないでください。

■ ゴムパッキンについて

- au Nano IC Card 04／microSDメモリカードトレイ周囲のゴムパッキンは、防水／防塵性能を維持するため大切な役割をしています。傷付けたり、はがしたりしないでください。
- au Nano IC Card 04／microSDメモリカードトレイを取り付ける際はゴムパッキンを噛み込まないようご注意ください。噛み込んだまま無理に閉めようとする、ゴムパッキンが傷付き、防水／防塵性能が維持できなくなる場合があります。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると水や粉塵が侵入する原因となります。
- 水以外の液体(アルコールなど)が付着した場合は耐久性能を維持できなくなる場合があります。
- au Nano IC Card 04／microSDメモリカードトレイの隙間に、先のとがったものを差し込まないでください。本体が破損・変形したり、ゴムパッキンが傷付くおそれがあり、水や粉塵が侵入する原因となります。
- 防水／防塵性能を維持するための部品は、異常の有無にかかわらず1年ごとに交換することをおすすめします。部品の交換については、お近くのauショップまでご連絡ください。

■ 耐熱性について

- 熱湯に浸けたり、熱湯をかけたりしないでください。また、サウナでの使用やドライヤーなどで熱風を当てないでください。本製品は耐熱設計ではありません。

■ 衝撃について

- 本製品は耐衝撃性能を有しておりません。落下させたり、衝撃を与えないでください。また、受話口(レシーバー)、送話口(マイク)、スピーカー、セカンドマイク、サードマイク、フォースマイク、外部接続端子などをとがったものでつつかないでください。本体が破損・変形するおそれがあり、水や粉塵が侵入する原因となります。

■ 充電のときは

付属品、オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点をご確認ください。

- 本製品が濡れている状態では絶対に充電しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 本製品が濡れていないかご確認ください。水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから充電してください。
- 濡れた手で指定の充電用機器(別売)に触れないでください。感電の原因となります。

- 指定の充電用機器(別売)は、水のかからない状態で使用し、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水回りでは使用しないでください。火災、やけど、感電・故障などの原因となります。また、充電しないときでも、風呂場などに持ち込まないでください。火災、やけど、感電・故障などの原因となります。

■ 水に濡れたときの水抜きについて

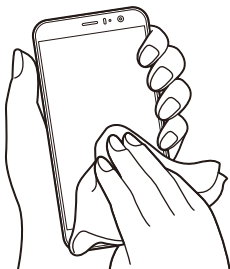
本製品を水に濡らした場合、必ず次の部分の水抜きをしてください。

- 受話口(レシーバー)
- 送話口(マイク)
- スピーカー
- セカンドマイク
- サードマイク
- フォースマイク
- 外部接続端子
- au Nano IC Card 04／microSDメモリカードトレイ
- ホームキー／指紋スキャナ
- 音量キー
- 電源キー

そのまま使用すると衣服やかばんなどを濡らす場合や音が聞こえにくくなる場合があります。

下記手順で水抜きを行ってください。

1. 本体に付着した水分を乾いた布などでよく拭き取ってください。



2. 外部接続端子が上になるように本製品をしっかりと持ち、矢印の方向に振ってください。

※ 本製品を振るときは、周囲の安全を確認し、落とさないようにしっかりと握ってください。



3. 乾いたタオル・布などを下に敷き、2～3時間程度常温で放置して乾燥させてください。

※ 乾燥が不十分の場合、音が聞こえにくくなります。十分に放置して乾燥させてからご使用ください。

Bluetooth[®]／無線LAN (Wi-Fi[®])機能について

注意事項

- 本製品のBluetooth[®]機能および無線LAN (Wi-Fi[®])機能は日本国内の無線規格およびFCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- 一部の国／地域ではBluetooth[®]機能および無線LAN (Wi-Fi[®])機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 無線LAN (Wi-Fi[®])やBluetooth[®]機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LAN (Wi-Fi[®])アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品のBluetooth[®]機能／無線LAN(Wi-Fi[®])機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

memo

- ◎ 本製品はすべてのBluetooth[®]・無線LAN(Wi-Fi[®])対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth[®]・無線LAN(Wi-Fi[®])対応機器との動作を保証するものではありません。

- ◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)によるデータ通信を行う際はご注意ください。
- ◎ 無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- ◎ Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ Bluetooth®と無線LAN(Wi-Fi®)は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LAN(Wi-Fi®)のいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。



• Bluetooth®機能:2.4FH1

本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。



全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

2.4DS4/OF4

• 無線LAN(Wi-Fi®)機能:2.4DS4/OF4

本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。

■■■■ 全体域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは、国により異なります。

航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

注意事項

5GHz帯ご使用上の注意

本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は5GHz帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されております。本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。

- W52(5.2GHz帯／36, 40, 44, 48ch)
- W53(5.3GHz帯／52, 56, 60, 64ch)
- W56(5.6GHz帯／100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch)

IEEE802.11b/g/n

IEEE802.11a/n/ac

J52 W52 W53 W56

各種暗証番号／PINコード

各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。

ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

■ 暗証番号

使用例	① お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合 ② お客様センター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

■ ロック解除用暗証番号

使用例	画面ロックなどの設定／解除をする場合
初期値	なし

■ ロックNo.(NFC／おサイフケータイロック)

使用例	[NFC／おサイフケータイロック]を設定する場合
初期値	1234


なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

PINコードについて

PINコード

第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力可否を設定する場合にも入力が必要となります。

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時のPINコードは[1234]、入力可否は入力が不要な設定になっていますが、ホーム画面で[]→[設定]→[セキュリティ]→[SIMカード ロックを設定]→[SIMカードをロック]と操作してチェックを付けると、PINコードの入力が必要になります。また、[PINの変更]をタップすると、お客さまの必要に応じてPINコードを4～8桁のお好きな番号に変更できます。入力が必要な設定で使用する場合、必ずお客様独自の番号に変更のうえご使用ください。

PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au ICカードが取り付けられていたプラスチックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。

- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPitもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- 「PINコード」はデータの初期化を行ってもリセットされません。

データ通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリなどにより自動的にデータ通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 本製品でのホームページ閲覧や、アプリなどのダウンロード、アプリによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、データ通信は有料となります。

※ 無線LAN (Wi-Fi®) の場合はデータ通信料はかかりません。

アプリについて

- アプリのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
- アプリの中には動作中スリープモードに入らなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリやインストールしたアプリは、アプリのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

アプリのアクセス権限を設定する

本製品の機能や情報にアクセスするアプリや機能を初めて起動すると、アクセスを許可するかどうかの確認画面が表示されます。

確認画面が表示された場合は、内容をご確認の上、[許可しない]または[許可]をタップしてください。

注意事項



memo

- ◎ [許可しない]をタップすると、アプリや機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
- ◎ アクセス権限の設定を変更するには、ホーム画面で [] → [設定] → [アプリ] → 対象のアプリをタップ → [許可] → アクセスを許可する機能を [ON] / [OFF] と操作します。
- ◎ アプリや機能によっては、許可についての説明画面が表示される場合があります。また、確認画面が複数回表示される場合や、表示が異なる場合があります。表示内容をよくご確認の上、画面の指示に従って操作してください。
- ◎ 本書では、確認画面の表示の記載については省略している場合があります。

マナーも携帯する

■ こんな場所では、使用禁止！

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています（自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります）。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

■ 周りの人への配慮も大切！

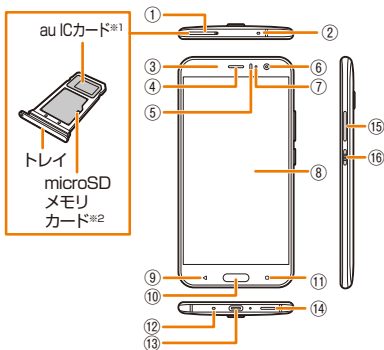
- 映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 携帯電話の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まったの通話や操作は控えましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れに注意しましょう。

- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。
- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルを守りましょう。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品を「機内モード」に切り替える、または本製品の電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

ご利用の準備

各部の名称と機能	60
au ICカードについて	63
au ICカードを取り付ける／取り外す	64
microSDメモ리카ードを取り付ける／取り外す	67
充電する	72
電源を入れる／切る	74
スリープモードについて	76
ロック解除について	76
エッジセンスについて	77
イヤホンを使用する	78




各部の名称と機能

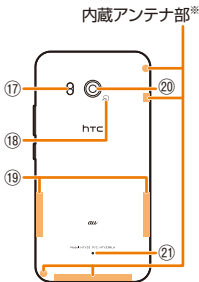


※1 au ICカードの取り扱いについては、「au ICカードについて」(▶P.63)をご参照ください。

※2 microSDメモ리카ードの取り扱いについては、「microSDメモ리카ードを取り付ける／取り外す」(▶P.67)をご参照ください。

- ① **au Nano IC Card 04／microSDメモ리카ード**
トレイ: au ICカードおよびmicroSDメモ리카ードを取り付けます。
- ② **セカンドマイク**: 通話相手が聞き取りやすいようにノイズを抑制するためのマイクです。
- ③ **通知ランプ**: 充電状態を確認したり、未確認の通知があることをお知らせします。
- ④ **受話口(レシーバー)**: 通話中の相手の声や楽曲の再生音などがここから聞こえます。
- ⑤ **近接光センサー**: 通話中に顔などの接近を検知し、タッチパネルの誤操作を防止します。また、周囲の明るさを検知して、画面の明るさを自動調節します。
- ⑥ **正面カメラ**: 自分を撮影するときなどに使用します。

- ⑦ **サードマイク**:スピーカーフォン使用時に、こちらの声を相手の方に伝えます。
- ⑧ **ディスプレイ(タッチパネル)**:指で直接触れて操作します。メニューや項目の選択、画面のスクロールやズームなどの操作ができます。
- ディスプレイには保護シート(試供品)が貼られています。市販の保護シートをご利用になる場合は、保護シートをはがしてください。
- ⑨ **戻るキー**:1つ前の画面に戻ります。
- ⑩ **ホームキー／指紋スキャナ**:ホーム画面に戻ります。指紋が登録され、指紋スキャナの画面復帰がオンに設定されている場合は、指紋をスキャンしてロックを解除します。
- ⑪ **最近使用したアプリ**:最近起動したアプリの履歴を表示したり、画面を分割して2つのアプリを同時に操作したりできます。
- ⑫ **送話口(マイク)**:通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。
- ⑬ **外部接続端子**:指定の充電用機器(別売)やイヤホンなどを接続します。
- ⑭ **スピーカー**:スピーカーフォンの音声や楽曲の再生音、着信音などを聞くことができます。
- ⑮ **音量キー**:着信音量や受話音量、メディアの再生音量などを調節します。
-  (上):音量大キー
 -  (下):音量小キー
- ⑯ **電源キー**:約2秒以上長押しして電源を入れます。電源が入っているときは、押すたびにスリープモード(▶P.76)をオン／オフします。
- 電源が入っているときに約2秒以上長押しすると、携帯電話オプション画面が表示されます。電源を切ったり機内モードを設定できます。



※ アンテナは、本体に内蔵されています。通話／通信品質が悪くなりますので、次の点にご注意ください。

通話時など内蔵アンテナ部を手でおおわないでください。
内蔵アンテナ部にシールなどを貼らないでください。

- ⑪ **フラッシュライト**: ライトとして使用します。カメラ撮影時にも使用できます。
- ⑫ **マーク**: おサイフケータイ[®]やNFC機能利用時にこのマークをリーダー／ライターにかざします。
- ⑬ **エッジセンス部(感圧センサー)**: 本機が握られたことを検知するセンサーです。エッジセンスについては、「エッジセンスについて」(▶P.77)をご参照ください。
- ⑭ **メインカメラ**: 静止画や動画を撮影するためのカメラです。
- ⑮ **フォースマイク**: 通話相手が聞き取りやすいようにノイズを抑制するためのマイクです。

memo

◎ 電池は本製品に内蔵されています。お客様による取り外しはできません。

au ICカードについて

au ICカードにはお客様の電話番号などが記録されています。本製品はau Nano IC Card 04に対応しております。

au Nano IC Card 04



memo

- ◎ au ICカードを取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
 - ・ au ICカードのIC(金属)部分には触れないでください。
 - ・ 正しい挿入方向をご確認ください。
 - ・ 無理な取り付け、取り外しはしないでください。
- ◎ au ICカードを取り付ける／取り外す前に、外部接続端子からケーブル／コードを取り外してください。
- ◎ au ICカードおよびトレイを正しく取り付けしていない場合やau ICカードに異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
- ◎ 取り外したau ICカードおよびトレイはなくさないようにご注意ください。
- ◎ 変換アダプタを取り付けたau ICカードを挿入しないでください。故障の原因となります。

au ICカードを取り付ける／ 取り外す

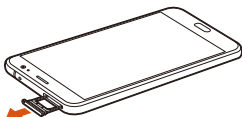
au ICカードを取り付ける

au ICカードの取り付けは、本製品の電源を切ってから行います。

- 1 au Nano IC Card 04／
microSDメモ리카ードトレイの穴
に、SIM取り出しピン(試供品)を
まっすぐ差し込む**
トレイが少し出ます。

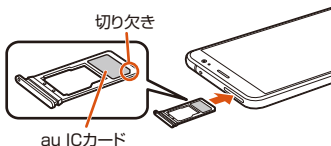


- 2 トレイを矢印の方向にまっすぐ引き
出す**

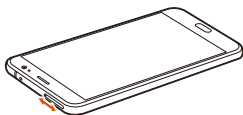


3 au ICカードのIC(金属)部分を下に向けてトレイに置き、トレイを矢印の方向にまっすぐ差し込む

切り欠きの位置にご注意ください。
au ICカードをトレイに確実にはめこんでいないと、トレイの挿入時にau ICカードがトレイから外れる可能性があります。



4 矢印の方向になぞり、トレイが浮いていることのないように確実に押し込む



au ICカードを取り外す

au ICカードの取り外しは、本製品の電源を切ってから行います。

- 1 au Nano IC Card 04 / microSDメモ리카ードトレイの穴に、SIM取り出しピン(試供品)をまっすぐ差し込む**

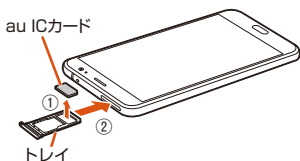
トレイが少し出ます。



- 2 トレイを矢印の方向にまっすぐ引き出す**



- 3** トレイからau ICカードを取り出し
(①)、トレイを矢印の方向にまっす
ぐ差し込む(②)



- 4** 矢印の方向になぞり、トレイが浮い
ていることのないように確実に押し
込む



ご利用の準備

microSDメモリカードを取 り付ける／取り外す

本製品には、microSDメモリカード
(microSDHCメモリカード、microSDXCメ
モリカードを含む)を取り付けることができま
す。

■ 取扱上のご注意

- microSDメモ리카ードのデータにアクセスしているときに、microSDメモ리카ードを取り外したり、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- 対応のmicroSDメモ리카ード／microSDHCメモ리카ード／microSDXCメモ리카ードにつきましては、各microSDメモ리카ード発売元へお問い合わせいただくか、auホームページをご参照ください。

microSDメモ리카ードを取り付ける

- 1 au Nano IC Card 04／microSDメモ리카ードトレイの穴に、SIM取り出しピン(試供品)をまっすぐ差し込む**

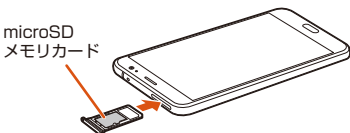
トレイが少し出ます。



- 2** トレイを矢印の方向にまっすぐ引き出す



- 3** microSDメモ리카ードの金属端子面を下に向けてトレイに置き、トレイを矢印の方向にまっすぐ差し込む



- 4** 矢印の方向になぞり、トレイが浮いていることのないように確実に押し込む



memo

- ◎ microSDメモ리카ードには、表裏／前後の区別があります。無理に入れようとする则取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。
- ◎ microSDメモ리카ードの端子部には触れないでください。

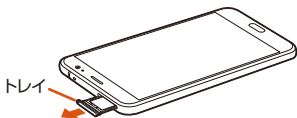
microSDメモリカードを取り外す

microSDメモリカードを取り外す前に、microSDメモリカードの取り出しを実行してください。

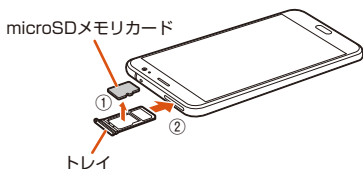
- 1 ホーム画面で[ホーム]→[設定]→[ストレージ]→[設定]→[取り出し]
- 2 本製品の電源を切る
- 3 au Nano IC Card 04 / microSDメモリカードトレイの穴に、SIM取り出しピン(試供品)をまっすぐ差し込む
トレイが少し出ます。



- 4 トレイを矢印の方向にまっすぐ引き出す



- 5** トレイからmicroSDメモリカードを取り出し(①)、トレイを矢印の方向にまっすぐ差し込む(②)



- 6** 矢印の方向になぞり、トレイが浮いていることのないように確実に押し込む



memo

- ◎ microSDメモリカードはトレイを完全に引き出してから取り外してください。故障・データ消失の原因となります。
- ◎ 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

充電する

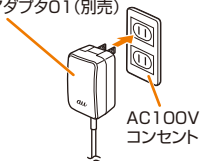
お買い上げ時、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

ACアダプタを使って充電する

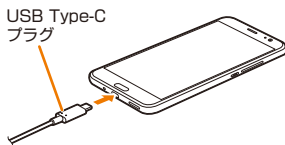
TypeC共通ACアダプタ01（別売）を使って充電する方法を説明します。

1 TypeC共通ACアダプタ01（別売）の電源プラグをコンセントに差し込む

TypeC共通ACアダプタ01（別売）



- 2 TypeC共通ACアダプタ01(別売)のUSB Type-Cプラグを本製品の外部接続端子にまっすぐに差し込む**



充電中は通知ランプが赤色に点灯し、充電中アイコン(🔌)がステータスバーに表示されます。充電が完了すると、通知ランプが緑色に点灯し、フル充電アイコン(🔋)が表示されます。


ご利用の準備

- 3 充電が完了したら、TypeC共通ACアダプタ01(別売)のUSB Type-Cプラグを本製品からまっすぐ引き抜く**

- 4 TypeC共通ACアダプタ01(別売)の電源プラグをコンセントから抜く**

電源を入れる／切る

電源を入れる


- 1  を約2秒以上長押ししてバイブレータが振動したら離す

しばらくすると、ロック画面が表示されます(▶P.76)。

memo

- ◎ 初期状態で電源を入れたときは、初期設定ウィザードが起動します。詳しくは、同梱の『設定ガイド』をご参照ください。

電源を切る

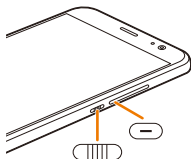
- 1 スリープモード中はスリープモードを解除する(▶P.76)
- 2  を約2秒以上長押しする
携帯電話オプション画面が表示されます。
- 3 [電源を切る]

強制再起動(リセット)について

本製品の電池は内蔵されており、取り外せません。強制的に再起動(リセット)するには、次の手順に従って操作してください。

1 ーを押した状態で を押し、約12秒以上長押しする

しばらくすると ◀ と □ が点滅します。点滅が終了し画面の表示が消えたら、ーと を離してください。バイブレータが振動し、しばらくして「htc」画面が表示されて再起動します。




ご利用の準備

memo

- ◎ 強制的に再起動(リセット)すると、保存されていないデータは消失します。本製品が操作できなくなったとき以外は行わないでください。
- ◎ 携帯電話オプション画面で[再起動]をタップすると、すべてのアプリを終了して本製品を再起動することができます。再起動すると、保存していないデータは消去されますのでご注意ください。

スリープモードについて

一定時間操作しなかったときは、電池残量を節約するために自動的に画面の表示が消えます。また、操作中にを押してもスリープモードになります。

■ スリープモードを解除する

を押すと画面を表示できます。

画面をダブルタップしてもスリープモードを解除できます。


ロック解除について

ロック画面が表示されたときは、次のいずれかの操作でロックを解除できます。




アプリからの通知や発着信履歴が表示されます。

タップすると通知一覧が表示されます。通知によっては、タップしてその通知に関連する情報を表示したり、左右にフリックして通知を消去したりできます。

を上にはスライドすると、スリープモードになる前の画面が表示されます。

《ロック画面》

以外を上にはスライドすると、それぞれのアプリが起動します。

memo

- ◎ 左右にフリックしても消去できない通知があります。
- ◎ 指紋が登録され、指紋スキャナの画面復帰がオンに設定されている場合は、指紋スキャナをタップしてもロックを解除できます。

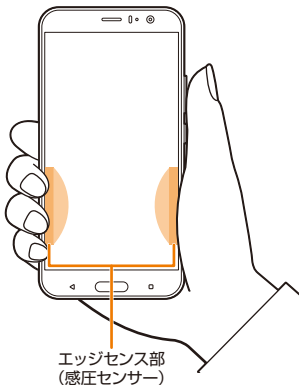
◎ 画面下部(ドック)に表示するアイコンは変更することができます。

エッジセンスについて

本製品にはエッジセンス機能が搭載されています。本製品を握って側面のエッジセンス部(感圧センサー)に圧力をかけることで、静止画や動画を撮影したり、Googleアプリを起動したりできます。

エッジセンス機能を利用するには初期設定が必要です(▶P.105)。

ご利用の準備



memo

◎ 本製品を握っていないくても、エッジセンス部に圧力がかかって作動する場合があります。

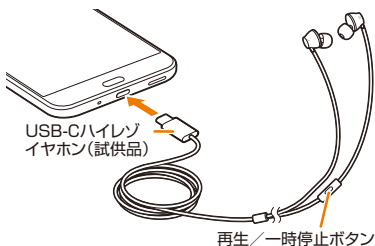
イヤホンを使用する

付属のUSB-Cハイレゾイヤホン(試供品)を接続します。

1 イヤホンのプラグを本製品の外部接続端子に差し込む

本製品に初めてイヤホンを接続した場合は、イヤホンのカスタマイズ画面が表示されます。

ご利用の準備



2 イヤホンを耳に差し込む

3 [開始]→[今すぐスキャンを開始します]→[完了]→[適用]

耳の構造がスキャンされ、イヤホンの音声最適化されます。

memo

◎ イヤホンのカスタマイズは必ずイヤホンを耳に差し込んでから実行してください。イヤホンを耳に差し込まずにカスタマイズすると、音質が悪くなる場合があります。

- ◎ 3.5φのプラグのイヤホン(市販品)を使用する場合は、USB-C to 3.5mmデジタルジャックアダプタ(試供品)で本製品とイヤホンを接続してください。
 - ◎ 市販のイヤホンでは音声の最適化はできません。
 - ◎ USB-C to 3.5mmデジタルジャックアダプタ(試供品)は、高品質のサウンドを提供するため電力を必要とします。本製品の電池の消費を抑えるため、ご使用にならないときは外してください。
-

基本操作





ホーム画面について	82
アプリを起動する	86
本製品の状態を知る	88
メニューを表示する	92
ソフトウェアキーボードを切り替える	92
マナーモード／サイレントモードを設定する	93
機内モードを設定する	93

ホーム画面について

ホーム画面は、アプリを使用するためのスタートポイントです。この画面は、BlinkFeed画面と拡張ホーム画面で構成され、左右にフリックすると切り替えることができます。

BlinkFeed画面	ニュース提供元を設定しておく と、ニューストピックを閲覧 できます。また、Facebookな どのSNSを登録しておく と、それぞれのサービスを利用 できます。
拡張ホーム画面	最大9つのホーム画面(パネル) を表示でき、表示順は並び替 えることができます。 アプリ、ショートカットを起動 したり、ウィジェットを表示し たりします。 また、アプリ、ショートカット、 ウィジェットを追加して自由に 配置できます。



- ① **ステータスバー**:通知アイコンとステータスアイコンが表示されます(▶P.88)。ステータスバーを下にスライドすると、通知パネルを開くことができます(▶P.90)。
- ② **トピックタイトルエリア**:タイトルをタップすると、各種ニューストピック(ハイライト)を閲覧できます。
- ③ **ドック**:アイコンをタップすると、アプリや機能を起動できます。ドックに表示するアプリは変更することができます。
 - :電話をかけることができます(▶P.96)。
 - :Webページを閲覧できます。
 - :Eメール(@ezweb.ne.jp)のアドレスを利用してメールの送受信ができます。
 - :静止画や動画を撮影できます。
- ④ **カスタマイズエリア**:アプリのショートカットやウィジェットを自由に配置できます。
- ⑤ **アプリ**:アプリを表示します。本製品でお使いになれる主なアプリについては、「主なアプリについて」(▶P.86)をご参照ください。

BlinkFeedを利用する

ニュースおよび各種サービスの表示設定を行います。

1 BlinkFeed画面で右にフリック



提供元の表示切り替えメニューが表示されます。

- 画面左上の☰をタップしても提供元の表示切り替えメニューを表示できます。

2 項目をタップ

■ 表示するコンテンツを設定する

1 提供元の表示切り替えメニューで [+]

コンテンツの追加画面が表示されます。

2 [News Republic]およびSNSに チェックを付ける

SNSの種類によってはログインが必要です。

3 ◀

- ◎ 提供元の表示切り替えメニューで、[News Republic]の[▽]→提供元をタップと操作すると、提供元の情報一覧が読み込まれます。表示したい情報をタップして読んだり、[+]をタップして記事を保存できます。(◀)をタップすると、BlinkFeed画面に戻ります。

■ 情報を更新する

BlinkFeed画面に表示するトピックを最新情報に更新します。

1 BlinkFeed画面で画面中央から下にスライド

[離すと更新します]が表示されるまでスライドします。



2 画面から指を離す

情報が更新されます。

アプリを起動する

1 ホーム画面で[📁]

2 利用するアプリのアイコンをタップ

上下にスライドすると、前後のページを表示できます。

memo

- ◎ アプリ一覧には「auサービス」「auサポート」「SNS」「Google」「ツール」のフォルダがあります。フォルダをタップすると、格納されているアプリが一覧で表示されます。フォルダ以外の場所をタップすると、アプリ一覧に戻ります。
- ◎ 利用するアプリのアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。
- ◎ アプリによっては、アプリ一覧でアイコンをロングタッチすると、モードや機能を選択して起動できます。

主なアプリについて

アイコン名	概要
時計	世界時計、アラーム、ストップウォッチ、タイマーとして利用できます。
天気	現在地や他の地域の天気を表示します。
カレンダー	カレンダーの表示や予定の登録ができます。
フォト	画像や動画の共有や一覧表示、画像の編集などの操作ができます。
SMS	電話番号を宛先としてメールの送受信ができます。
Playストア	Google Playを利用できます。

アイコン名	概要
設定	設定メニューを表示します(▶P.102)。
マップ	現在地の表示／他の場所の検索／経路の検索などが行えます。
YouTube	YouTubeを利用できます。
Facebook	友達の近況チェックや写真・動画のアップロード、知り合いやグループとのメッセージのやりとりができる無料の『実名制』コミュニケーションアプリです。
Twitter	Twitterは多くの人々とつながったり、自分を表現したり、大好きなものについていろいろ知ることができる無料のアプリです。

本製品の状態を知る

アイコンの見かた













画面上部のステータスバーには本製品の状態を示すアイコンが表示されます。



■ 主な通知アイコン

アイコン	概要
	不在着信あり
	発信中、通話中、着信中
	auのVoLTE対応機種と高音質通話中
	新着Eメール(@ezweb.ne.jp)あり
	新着Gmailあり
	新着SMSあり
	新着PCメールあり
	文字入力中
	Wi-Fi®テザリング機能オン
	ソフトウェア更新あり
	アプリのアップデートあり
	位置検索サポートの通知
	本体メモリの空き容量低下

■ 主なステータスアイコン

アイコン	概要
	電波状態
	圏外
	機内モード
	データ通信(LTE／WiMAX 2+)状態 ※「LTE」「WiMAX 2+」の2つのネットワーク をご利用いただけます。いずれの場合も画面 表示は「4G」となります。 回線の混雑状況などに応じ、より混雑が少な いと当社が判断したネットワークに接続しま す。
	無線LAN(Wi-Fi®)の電波状態
	電池レベル ・ ホーム画面で[]→[設定]→[電源] →[バッテリー レベルを表示]と操作 してチェックを付けると、電池アイコ ンの左に電池残量をパーセント表示 できます。
	充電中
	マナーモード
	サイレントモード
	NFCリーダー／ライター機能を有効に 設定中
	データセーバー機能オン

通知パネルについて

ステータスバーに通知アイコンが表示されたときは、ステータスバーを下にスライドすると通知パネルを開くことができます。



基本操作

- ① **設定**: 設定メニューが表示されます(▶P.102)。
- ② **クイック設定パネル**: クイック設定パネルが表示されます(▶P.91)。
- ③ **設定切り替え**: 各機能のアイコンをタップするたびに設定が切り替わります。
- ④ **お知らせエリア**: 通知によっては、タップしてその通知に関連する情報を表示したり、左右にフリックして通知を消去したりできます。
- ⑤ **すべてを消去します**: すべての通知を消去します。

◀をタップすると通知パネルを閉じることができます。

memo

- ◎「設定切り替え」に表示されるアイコンはクイック設定パネルのアイコン一覧に表示されている最初の6項目です。表示するアイコンを変更したい場合は、クイック設定パネルでアイコンの位置を変更してください。

■ クイック設定パネルを開く

ステータスバーを2本の指で下にスライドするか、ステータスバーを下に2回スライドするとクイック設定パネルを開くことができます。



- ① **設定切り替え**:各機能のアイコンをタップするたびに設定が切り替わります。また、以下の操作ができます。
 - 左右にフリックすると、アイコンの表示が切り替わります。
 - アイコンをロングタッチすると、各機能の設定メニューが表示されます。
- ② **編集**:クイック設定パネルの編集画面が表示されます。アイコンを非表示にするには、アイコンをロングタッチしてから[ここにドラッグして削除]の上にドラッグします。アイコンを表示するには、[ドラッグしてタイルを追加]に表示されているアイコンを表示させたい位置にドラッグします。アイコンを並べ替えるには、アイコンをロングタッチして配置したい位置にドラッグします。
- ③ **設定**:設定メニューが表示されます(▶P.102)。
- ④ **通知**:通知パネルが表示されます(▶P.90)。

◀を2回タップするとクイック設定パネルを閉じることができます。

メニューを表示する

画面に表示される[⋮]をタップします。
画面によって表示は異なります。



メニューが
表示されます。

基本操作

ソフトウェアキーボードを切り替える

- 1 文字入力画面で[文字]をロングタッチ
→[キーボードタイプ切替]→[テンキーキーボード]／[QWERTYキーボード]／[50音キーボード]



《テンキーキーボード》




《QWERTY キーボード》




《50 音キーボード》

memo

- ◎  をタップするたびに、テンキーキーボードと QWERTY キーボードが切り替わります。

マナーモード／サイレントモードを設定する

- 1 ホーム画面で[]→[設定]→[サウンドと通知]
- 2 [モード設定]→[マナー]／[サイレント]

ステータスバーに[] (マナーモード)／[] (サイレントモード)が表示されます。

- ・ [通常] をタップすると、マナーモード／サイレントモードが解除されます。

基本操作

機内モードを設定する

- 1 ホーム画面で[]→[設定]→[機内モード]の[ON]／[OFF]

電話

電話をかける.....	96
電話を受ける.....	98
自分の電話番号を確認する.....	99

電話をかける

電話画面で電話番号を直接入力して電話をかけます。

1 ホーム画面で[電話]



2 ダイヤルボタンをタップして相手の電話番号を入力する

一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。

3 [ダイヤル]→通話→[通話を終了]

通話中に音量キーを押すと、通話音量(相手の声の大きさ)を調節できます。

memo

- ◎ 電話番号を間違えたときは、[←]をタップして番号を1桁ずつ消去します。[←]をロングタッチすると、入力した番号がすべて消去されます。
- ◎ 発信中／通話中に顔などによって近接光センサーをおおうと、誤動作を防止するため画面が消灯します。
- ◎ 送話口(マイク)をおおっても、相手の方には声が伝わりますのでご注意ください。
- ◎ 通話中に  または  をタップすると、通話したままホーム画面に戻ります。通話中の画面を再表示するには、ホーム画面で[電話]をタップするか、ステータスバーを下にスライド→お知らせエリアの通話中通知をタップします。[電話を切る]をタップすると通話を終了します。

■ 緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地(GPS情報)が緊急通報先に通知されます。



memo

- ◎ 日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、auのVoLTE(LTEネットワーク)を利用します。3G(回線交換ネットワーク)を利用した接続はできません。
- ◎ 警察(110)・消防機関(119)・海上保安本部(118)について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
- ◎ 本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。
- ◎ 緊急通報番号(110、119、118)の前に[184]を付加した場合は、電話番号と同様にお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。
- ◎ GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい、地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
- ◎ GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。
- ◎ 警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認のうえ、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
- ◎ 緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。


電話

履歴を利用して電話をかける

通話履歴から電話をかけられます。

- 1 ホーム画面で[ (電話)]
- 2 右にフリックして通話履歴を選択
- 3 電話をかける相手の[]をタップ→通話→[通話を終了]

memo

- ◎ 通話履歴画面で[電話帳 ]をタップすると、通話履歴を種類別に表示できます。
- ◎ 通話履歴をロングタッチするとオプションメニューが表示され、詳しい通話履歴の表示や通話履歴の削除、連絡先に保存などが行えます。


電話を受ける

電話


着信があると画面にメッセージが表示され、応答するか、拒否するかを選択することができます。

- 1 着信中に[応答]
スリープモード(画面ロック)中の着信に応答する場合は、[応答]を上または右にスライドします。
 - ・ お買い上げ時は[自動応答]がONになっているため、本製品を持ち上げると自動的に応答します。
- 2 通話→[通話を終了]
通話が終了し、元の画面に戻ります。

memo

- ◎ 着信を拒否するには[着信拒否]をタップします。
スリープモード(画面ロック)中の着信を拒否する場合は、[着信拒否]を上または右にスライドします。
 - ◎ 着信音を一時的に消すには、**(+)**または**(-)**を押します。
ディスプレイを下向きにしても着信音を消すことができます。
- かかってきた電話に出なかった場合は
- ◎ ステータスバーに[]が表示されます。

自分の電話番号を確認する

- 1 ホーム画面で[]→[設定]→[バージョン情報]→[電話ID]→[電話番号]を確認



電話

機能設定

設定メニューを表示する	102
エッジセンスの初期設定を行う	105


設定メニューを表示する

本製品の各種機能を設定、管理します。無線LAN(Wi-Fi[®])機能やセキュリティなどの設定も、ここから操作します。

1 ホーム画面で[設定]→[設定]

ステータスバーを下にスライド→[設定]と操作しても設定メニューを表示できます。

項目	設定内容
au設定メニュー	au IDなど、auサービスについて設定します。
機内モード	通話、データ通信、無線LAN(Wi-Fi [®])機能、Bluetooth [®] 機能などの通話・通信機能をすべてオフにします。
Wi-Fi	家庭内で構築した無線LAN(Wi-Fi [®])環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットに接続できます。
Bluetooth	本製品のBluetooth [®] 機能を利用して、近くにあるBluetooth [®] 対応機器と無線でデータをやりとりできます。
モバイルデータ	通信事業者を切り替えたり、海外利用に関する設定をします。
HTC Connect	3本の指で画面をフリックするだけで、本製品の音楽や動画をスピーカーやテレビにストリーミングできます。ストリーミング中の再生・停止や音量の調整などは、本製品で操作できます。さらに、お気に入りの音楽を複数のスピーカーで楽しむこともできます。
詳細	NFC／おサイフケータイやテザリングなどの設定をします。

項目	設定内容
個人設定	ホーム画面にアプリのショートカットやウィジェットを追加したり、表示の設定を行います。
指紋スキャナ	指紋スキャナの動作を設定したり、指紋の登録などを行います。
アカウントと同期	オンラインサービスのアカウントの設定や、データの自動同期について設定します。
位置情報	Wi-Fi [®] ネットワークやモバイルネットワーク、GPS機能を使ったGoogleの位置情報について設定します。
セキュリティ	画面ロックやau ICカードのPINコードなど、セキュリティについて設定します。
ユーザー補助	ユーザーの操作に音や振動で反応するサービスを有効にしたり、  で通話を終了する設定などを行います。
バックアップとリセット	本製品の設定のバックアップについて設定したり、本製品を初期化したりできます。
別の電話からコンテンツを取得	HTC転送ツールをインストールして各種コンテンツを転送したり、HTC社製以外の携帯電話のコンテンツを転送したりできます。 ※ HTC社製以外の携帯電話の場合は、転送できないことがあります。
Google	Googleのサービスに関する設定を行います。
エッジセンス	本製品を握ってカメラの撮影やGoogleアプリの起動などができるように設定します。
ディスプレイ、ジェスチャ、ボタン	画面の明るさやジェスチャーを使ったスリープモードの解除など、画面表示やジェスチャーについて設定します。

項目	設定内容
内蔵スピーカー用HTC BoomSound	スピーカーの音楽モード／シアターモードを切り替えます。
USB-Cハイレゾイヤホン	耳の構造をスキャンして、USB-Cハイレゾイヤホン(試供品)の音声を最適化します。
サウンドと通知	マナーモードや着信音など、音やバイブレーションについて設定します。
通話設定	auのネットワークサービスなど、通話について設定します。
auお客さまサポート	My auのサイトに接続したり、157(お客さまセンター)に発信したりします。
アプリ	アプリの管理を行います。
ストレージ	本体ストレージやmicroSDメモ리카ードの空き容量などを確認できます。また、microSDメモ리카ードのマウント／マウント解除やデータ消去をすることもできます。
電源	電池残量を確認したり、電池を使用しているアプリを確認できます。
メモリ	メモリの平均使用量を確認したり、アプリごとの平均メモリ使用量を確認できます。
言語とキーボード	表示言語や文字入力について設定します。
日時設定	日付と時刻の表示形式やタイムゾーンを設定します。
印刷	本製品からインターネットに接続しているクラウド対応のプリンタで、画像やドキュメントなどを印刷できるように設定します。
バージョン情報	本製品のバージョンなどの情報を確認したり、ソフトウェアを更新します(▶P.108)。

- ◎ 設定メニューの表示中に画面を左から右にスライドすると、設定メニューのトップが表示されます。

TalkBackのタッチガイド機能について

- ◎ 初めてTalkBackをオンにしたときは、タッチガイド機能をオンにするかどうかのメッセージが表示されます。

タッチガイド機能とは、タップした位置にあるアイテムの説明を読み上げたり、表示することができる機能です。

タッチガイド機能をオンにすると、通常の操作とは異なった方法で本製品の操作ができます。項目を選択する場合は、一度タップしてからダブルタップをし、スライドをする場合は、2本の指で画面上を目的の方向になぞります。

タッチガイド機能のみをオフにする場合は、設定メニュー画面→[ユーザー補助]→[TalkBack]→[⋮]→[設定]と操作し、[タッチガイド]を[OFF]にします。

エッジセンスの初期設定を行う

エッジセンス部を握ってカメラの撮影やGoogleアプリの起動などができるように設定します。

1 ホーム画面で[⋮]→[設定]→[エッジセンス]

エッジセンスのセットアップ画面が表示されます。

2 [今すぐセットアップ]

3 画面の指示に従って、握力レベルを設定→[次へ]

4 画面の指示に従って、握力テストを実施→[次へ]

5 エッジセンスの機能を確認→[完了]

memo

◎ エッジセンスはさらに細かい動作を設定できます。
詳細は、『取扱説明書アプリ』(▶P.2)をご参照ください。

付録

ソフトウェアを更新する	108
故障とお考えになる前に	110
アフターサービスについて.....	112
SIMロック解除について	118
周辺機器のご紹介	118
主な仕様	119
携帯電話機の比吸収率(SAR)について	121
FCC Notice	124
FCC RF exposure information.....	125
Body-worn operation	126
DECLARATION OF CONFORMITY	127
輸出管理規制.....	129
知的財産権について	129


ソフトウェアを更新する

■ ご利用上の注意

- データ通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。特にOSアップデートの場合、大容量のデータ通信が発生します。無線LAN (Wi-Fi[®]) でのご利用をおすすめします。
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、au ショップもしくはお客さまセンター(157/通話料無料)までお問い合わせください。また、本製品をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要な本製品をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- ソフトウェアの更新中は操作できません。110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)、157番(お客さまセンター)へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。
- ソフトウェア更新を実行する前に電池残量が十分かご確認ください。
- ソフトウェア更新は電波状態のよいところで、移動せずに行ってください。

- 必要なデータはソフトウェア更新前にバックアップすることをおすすめします(一部ダウンロードしたデータなどは、バックアップできない場合があります)。ソフトウェア更新前に本製品に登録されたデータはそのまま残りますが、本製品の状態(故障など)により、データが失われる可能性があります。データ消失に関しては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ソフトウェアの更新に伴う、一切の故障・動作不良・ソフトウェア設定ならびに仕様の変更などによって発生した損害、およびその回復に要する費用については、当社は一切の責任を負いません。
- ソフトウェア更新中は絶対に電源を切らないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit(一部ショップを除く)にお持ちください。
- 海外利用中は、ソフトウェア更新の機能を利用できない場合があります。

memo

- ◎ ソフトウェア更新後に再起動しなかったときは、を約2秒以上長押しして電源をONにしてください。それでも起動しないときは、auショップもしくはPiPit(一部ショップを除く)にお持ちください。

ソフトウェアを更新する


- 1** ホーム画面で[⌘]→[設定]→[バージョン情報]
- 2** [ソフトウェア アップデート]
アップデートが必要ない場合は、[OK]をタップします。
- 3** アップデートバージョンをご確認の
うえ、[ダウンロード]をタップ
・ 更新方法にチェックを付けます。
- 4** [今すぐインストール]にチェックを
付ける→[OK]
後でインストールする場合は、[後でインストール]にチェックを付ける→[OK]をタップします。


故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認いただくとともに、「故障紛失サポート」アプリにて「トラブル診断」を行ってください。

ホーム画面で[⌘]→[auサポート]→[故障紛失サポート]→[トラブル診断]

付録

症状	チェックする箇所	参照先
電源が入らない	・ 内蔵電池は充電されていますか？ ・  を約2秒以上長押ししていますか？	P.72 P.74
充電ができない	・ 指定の充電用機器(別売)は正しく取り付けられていますか？	P.72

症状	チェックする箇所	参照先
電池を利用できる時間が短い	<ul style="list-style-type: none"> 十分に充電されていませんか？ [] (圏外)が表示される場所での使用が多くありませんか？ 内蔵電池が寿命となっていませんか？ 	P.37 P.72
タッチパネルで意図した通りに操作できない	<ul style="list-style-type: none"> 手袋などをしたままで操作していませんか？ 爪の先で操作したり、異物を挟んだ状態で操作したりしていませんか？ 電源を切り、もう一度電源を入れ直してみてください。 	P.74
ディスプレイの照明がすぐに消える	<ul style="list-style-type: none"> 一定時間操作しなかったときは、電池残量を節約するために自動的に画面の表示が消えます(スリープモード)。 	P.76
相手の方の声が聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> 受話音量が最小に設定されていませんか？ 受話口を耳でふさいでいませんか？受話口が耳の穴に当たるようにしてください。 	P.60 P.61

上記の各項目を確認しても症状が改善されないときは、以下のauホームページの「トラブル診断」で症状をご確認ください。

<https://www.au.com/trouble-check/>

付録

アフターサービスについて

■ 修理を依頼されるときは

修理については故障紛失サポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

※ 保証期間は、本製品をお客様が新規ご購入された日より1年間です。

memo

- ◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- ◎ 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのau電話は、再生修理した上で交換用携帯電話機として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。
- ◎ 本製品を加工、改造、解析（ソフトウェアの改造、解析（ルート化などを含む）、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む）されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。
- ◎ 本体内蔵の電池は、電池の材質上または製造上の瑕疵により生じる事象を除き無償修理保証の対象外です。

■ 補修用性能部品について

当社は本製品本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 無償修理規定

1. 修理受付時は、製造番号(IMEI番号)の情報をお知らせください。製造番号(IMEI番号)は、本製品本体もしくは外装箱に貼付のシールなどで確認することができます。
2. 保証期間内に、取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で機器が故障した場合には、無償修理をさせていただきます。
3. 保証期間内でも、以下の場合には有償修理となります。(または、修理ができない場合があります。)
 - ① 取扱説明書に従った正しい使用がなされなかった場合。
 - ② 不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
 - ③ 当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理された場合。
 - ④ 使用上、取り扱い上の過失または事故による故障や損傷の場合。また、落下、水濡れ、湿気などの痕跡がある場合。
 - ⑤ 地震、風水害などの天災および火災、塩害、異常電圧などによる故障や損傷。
4. 機器の損傷状況によっては、修理を承れない場合もあります。
5. 製品の機器が故障したことにより、発生した損害・損失については負担いたしません。
6. 本製品を指定外の機器と接続して使用した場合、万一発生した事故については、責任を負いかねます。
7. 出張による修理対応はお受けできません。

8. 本規定は、日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)

※ 本保証は、上記に明示した期間、条件のもとで、無償修理をお約束するものです。従って、本保証によって保証責任者および、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

■ 故障紛失サポートについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「故障紛失サポート」をご用意しています(月額380円、税抜)。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細については、auホームページをご確認いただくか、故障紛失サポートセンターへお問い合わせください。

memo

- ◎ ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限りです。
- ◎ ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
- ◎ 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
- ◎ au電話を譲渡・承継された場合、故障紛失サポートの加入状態は譲受者に引き継がれます。
- ◎ 機種変更・端末増設などにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「故障紛失サポート」は自動的に退会となります。
- ◎ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■ au ICカードについて

au ICカードは、auからお客様にお貸し出したものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、au ショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■ auアフターサービスの内容について

■ 交換用携帯電話機お届けサービス

サービス内容		故障紛失サポート	
		会員	非会員
自然故障	1年目	無料	補償なし
	2年目以降	「交換用携帯電話機お届けサービス」(会員)ご負担金の表を参照	
部分破損、水濡れ、全損、盗難、紛失			

※ 金額はすべて税抜

■ 預かり修理

サービス内容		故障紛失サポート	
		会員	非会員
自然故障	1年目	無料	無料
	2年目以降	無料(3年間保証)	実費負担
部分破損		お客様負担額 上限5,000円	
水濡れ、全損		お客様負担額 10,000円	
盗難、紛失		補償なし	補償なし (機種変更対応)

※ 金額はすべて税抜

■「交換用携帯電話機お届けサービス」(会員)で負担金

適用条件	1回目	2回目
通常	5,000円／ 長期ご利用 特典※ ¹ 3,000円	8,000円／ 長期ご利用 特典※ ¹ 6,000円
「WEB割引」※ ² ／「代用機なし 割引」※ ³ の両方 を適用	4,000円／ 長期ご利用 特典※ ¹ 2,000円	7,000円／ 長期ご利用 特典※ ¹ 5,000円
「代用機なし割引」※ ³ のみを適用	4,500円／ 長期ご利用 特典※ ¹ 2,500円	7,500円／ 長期ご利用 特典※ ¹ 5,500円

※ 金額はすべて税抜

※¹ 3年目(25カ月)以上ご利用中のお客様、またはそのお客様が属する家族割内すべての回線が対象です。データ通信端末、タブレットをご利用中のお客様は、セット割(WINシングルセット割、またはスマホセット割)に加入しており、セット割の対象回線のご契約が3年目以上の場合が対象です。

※² WEB割引: auホームページから「交換用携帯電話機お届けサービス」を申し込む場合、サービス利用ご負担金から500円を割引します。

「WEB割引」の場合は代用機の貸出はできませんので、自動的に「代用機なし割引」があわせて適用されます。

※³ 代用機なし割引: 「交換用携帯電話機お届けサービス」のご利用に際し、代用機を利用しない場合は、サービス利用ご負担金から500円を割引します。

詳細はauホームページでご確認ください。

オンライン交換受付(24時間受付)

※ パソコン、スマートフォンからのみ受付可能

<https://www.au.com/support/service/mobile/trouble/repair/application/>

交換用携帯電話機お届けサービス

- ◎ au電話がトラブルにあわれた際、お電話いただくことでご指定の送付先に交換用携帯電話機(同一機種・同一色※)をお届けします。故障した今までお使いのau電話は、交換用携帯電話機がお手元に届いてから14日以内にご返却ください。

※ 同一機種・同一色の提供が困難な場合、別途当社が指定する機種・色の交換用携帯電話機をご提供します。

- ◎ 本サービスをご利用された日を起算日として、1年間に2回までご利用可能です。本サービス申し込み時において過去1年以内に本サービスのご利用がない場合は1回目、ご利用がある場合は2回目となります。

※ 詳細はauホームページでご確認ください。


- ◎ 盗難、紛失など、本サービスのご利用と同時にau ICカードの再発行を伴う場合は、別途au ICカード再発行手数料1,900円が必要です。

預かり修理

- ◎ お客様の故意・改造(分解改造・部品の交換・塗装など)による損害や故障の場合は補償の対象となりません。
- ◎ 外装ケースの汚れや傷、塗装のはがれなどによるケース交換は割引の対象となりません。

SIMロック解除について

本製品はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除はauホームページ、auショップで受付しております。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、一部サービス・機能などが制限される場合があります。当社では一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除の操作は、ホーム画面で[- 詳しくは、auホームページをご参照ください。

<https://www.au.com/support/service/mobile/procedure/simcard/>

周辺機器のご紹介

- TypeC共通ACアダプタ01(0601PQA)(別売)
- HTC急速充電ACアダプタ(79H00147)(別売)
- 共通ACアダプタ05(0501PWA)(別売)*
- MicroB-TypeC変換アダプタ(0601PHA)(別売)
- auキャリングケースGブラック(0106FCA)(別売)

* ご利用にはMicroB-TypeC変換アダプタ(別売)が必要です。

memo

◎ 周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。

<http://auonlineshop.kddi.com/>

主な仕様

ディスプレイ		約5.5インチ Super LCD 5 WQHD
		1,440×2,560ドット (最大約1,677万色)
質量		約170g
サイズ(幅×高さ×厚さ)		約76mm×154mm×8.3mm (最厚部約9.7mm)
メモリ(内蔵)		ROM:約64GB RAM:約4GB
連続通話時間	国内	約1220分
	海外(GSM)	約640分
連続待受時間	国内	約320時間
	海外(GSM)	約310時間
充電時間		約100分: TypeC共通ACアダプタ 01(別売)使用時
無線LAN(Wi-Fi®)機能		IEEE802.11a/ac/b/g/n準拠※1
連続テザリング時間※2		約610分
テザリング最大接続数		Wi-Fiテザリング:8台 Bluetoothテザリング: 8台 USBテザリング:1台

※1 IEEE802.11nは2.4GHz、5GHzに対応しています。

※2 連続テザリング時間は、無線LAN(Wi-Fi®)機能対応のクライアント(パソコンなど)を1台接続している場合の時間です。

- ◎ 連続通話時間および連続待受時間は、電波を正常に受信できる移動状態と静止状態の組み合わせによるそれぞれの平均的な利用時間です。充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

Bluetooth[®]機能

通信方式	Bluetooth [®] ver BT 4.2 ^{※1}
出力	Bluetooth [®] 標準規格Power Class 1
通信距離 ^{※2}	見通しの良い状態で10m以内
使用周波数帯	2.4GHz帯

- ※1 対応Bluetooth[®]プロファイルは次の通りです。
対応Bluetooth[®]プロファイルは、Bluetooth[®]機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth[®]標準規格で定められています。

SAP(SIM Access Profile)

GAP(Generic Access Profile)

GOEP(Generic Object Exchange Profile)

DUN(Dial-up Networking Profile)^{※3}

SPP(Serial Port Profile)

HFP(Hands Free Profile)

GATT(Generic Attribute Profile)

A2DP(Apt-x) (Advanced Audio Distribution Profile)

AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile)

HID(Human Interface Device Profile)

HSP(Headset Profile)

OPP(Object Push Profile)

PAN(Personal Area Networking Profile)

PBAP(Phone Book Access Profile)

HOGP(HID Over GATT Profile)

MAP(Message Access Profile)

HDP(Health Device Profile)

- ※2 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。

- ※3 一部のカーナビゲーションシステムのみに対応しています。
ご利用にあたっては、auホームページをご参照ください。

■ カメラ

撮像素子	CMOS
有効画素数	メインカメラ:約1,200万画素 正面カメラ:約1,600万画素

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種HTC U11 HTV33の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準^(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するように設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は0.499W/kg^(※2)、身体に装着した場合のSARの最大値は0.464W/kg^(※2)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じるこ

ともありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

付録

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

※2 この値は同時に使用可能な無線機能を含みます。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

-
- 総務省のホームページ:
<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>
 - 一般社団法人電波産業会のホームページ:
<http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>
 - HTC Corporationのホームページ:
<http://www.htc.com/jp/>
 - auのホームページ:
<https://www.au.com/>
-

FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Note:

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning

The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF exposure information

This model phone is a radio transmitter and receiver.

It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.

The SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 1.0W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.5W/kg.

Body-worn operation

This phone was tested for typical body-worn operations with the back of the phone kept at a distance of 1.5 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between your body and the back of the phone. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of **<https://www.fcc.gov/oet/ea/fccid>** after searching on FCC ID NM8HTV33.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at **<https://www.ctia.org/>**.

DECLARATION OF CONFORMITY

(1)

If your device belongs to Class II device, please put below countries you are intended to sold.

This equipment may be operated in:							
AT	BE	BG	CH	CY	CZ	DE	DK
EE	ES	FI	FR	GB	GR	HU	IE
IT	IS	LI	LT	LU	LV	MT	NL
NO	PL	PT	RO	SE	SI	SK	TR

(2)

Products with 2.4-GHz Wireless LAN Devices

For 2.4-GHz wireless LAN operation of this product, certain restrictions apply. This equipment may use the entire-2400-MHz to 2483.5-MHz frequency band (channels 1 through 13) for indoor applications. For outdoor use, only 2400-2454 MHz frequency band may be used. For the latest requirements, see <http://www.art-telecom.fr/>.

(3)

For the device which tests accordance to EN60950-1:2006, it is mandatory to perform audio tests for EN50332.

This device have been tested to comply with the Sound Pressure Level requirement laid down in the applicable EN 50332-1 and/or EN 50332-2 standards. Permanent hearing loss may occur if earphones or headphones are used at high volume for prolonged periods of time.

付
録

Note: For France, headphones/earphones for this device are compliant with the sound pressure level requirement laid down in the applicable EN 50332-1: 2000 and/or EN50332-2: 2003 standard as required by French Article L.5232-1.



A pleine puissance, l'écoute prolongée du baladeur peut endommager l'audition de l'utilisateur.

(4) CE SAR Information

This device meets the EU requirements (1999/519/EC) on the limitation of exposure of the general public to electromagnetic fields by way of health protection.

The limits are part of extensive recommendations for the protection of the general public. These recommendations have been developed and checked by independent scientific organizations through regular and thorough evaluations of scientific studies. The unit of measurement for the European Council's recommended limit for mobile devices is the "Specific Absorption Rate" (SAR), and the SAR limit is 2.0 W/ kg averaged over 10 gram of body tissue. It meets the requirements of the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP).

For body worn operation, this device has been tested and meets the ICNIRP exposure guidelines and the European Standard EN 62311 and EN 62209-2, for use with dedicated accessories. Use of other accessories which contain metals may not ensure compliance with ICNIRP exposure guidelines.

SAR is measured with the device at a separation of 5 cm to the body, while transmitting at the highest certified output power level in all frequency bands of the mobile device.

Head: 0.55 W/kg@10g

Body: 0.42 W/kg@10g

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

■ 商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。



付
録

- microSD™はSD Card Associationの商標です。
- BluetoothはBluetooth SIG, Inc. USAの登録商標です。
- Bluetooth® smart readyワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、HTC Corporationは、これら商標を使用する許可を受けています。



- Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。
- 「Wi-Fi」および「Wi-Fi」ロゴは、Wi-Fi Alliance®の登録商標です。



- Microsoft®, Windows®, ActiveSync®およびOutlook®のロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 「Twitter」はTwitter, Inc.の登録商標です。
- FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。

- Copyright 2017 Google Inc.使用許可取得済
Google、Googleロゴ、Android、Google Play™、Google+、Googleドライブ、Google音声検索、Googleマップ™、Chrome、Gmail™、ハングアウト、YouTube、YouTubeロゴおよびその他の商標はGoogle Inc.の商標または登録商標です。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- JavaおよびJavaに関する商標は、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- Dolby、ドルビーおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの登録商標です。
- CorningおよびGorillaは、Corning Incorporatedの登録商標です。
- 「HTC BoomSound」「HTC BlinkFeed」はHTC Corporationの登録商標です。
- HTCは日本オーディオ協会のハイレゾ定義に準拠した製品に、このロゴを冠して推奨しています。ロゴは登録商標です。



- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

■ OpenSSL License

【OpenSSL License】

Copyright © 1998-2013 The OpenSSL Project. All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit.

(<https://www.openssl.org/>)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE
OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY
EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES,
INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY
AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE
OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS
BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT,
INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR
CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING,
BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF
SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF
USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS
INTERRUPTION)

HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF
LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE
OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT
OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF
ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH
DAMAGE.

【Original SSLeay License】

Copyright © 1995-1998 Eric Young
(eyay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com) THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ その他

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。本製品を他人に使わせたり譲渡する目的で海外へ持ち出す場合は、輸出許可が必要になることがあります。旅行や出張時に本人が使用する目的で日本から持ち出し持ち帰る場合には許可は不要です。

An export permit may be required if this device is to be used by or transferred to anyone else. No such documentation is required if you take this device out of the country and bring it back for the purpose of personal use when going on vacations or short business trips.

米国輸出規制により本製品をキューバ、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、スーダン、シリアへ持ち込むためには米国政府の輸出許可が必要です。

This device is controlled under the export restrictions of the United States of America. A US government export permit is required to export to Cuba, Iran, North Korea, Sudan and Syria.

本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。

- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画(以下、MPEG-4 Video)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および／または(ii)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておられません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, LLCから入手できる可能性があります。<http://www.mpegla.com>をご参照ください。

MEMO

お客様各位

このたびは、HTV33 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

HTV33 取扱説明書 詳細版の記載内容に誤りがございましたので、お詫び申し上げますとともに、以下の内容を訂正させていただきます。また、記載内容に変更がございましたので、あわせてお知らせさせていただきます。

- 「各部の名称と機能」(62 ページ)

誤) ⑱ レーザーフォーカス:被写体にレーザー光線を当て、反射状況から被写体との距離を測定してピントを合わせます。

正) 記載削除

- 「各部の名称と機能」(62 ページ)

イラスト内および項目説明の番号⑲から㉓までを⑲から㉑に変更いたしました。

お問い合わせ先番号

お客さまセンター

総合・料金・操作方法について(通話料無料)

受付時間 9:00～20:00(年中無休)

一般電話からは

au電話からは

 **0077-7-111**

局番なしの**157**番

Pressing “zero” will connect you to an operator,
after calling “157” on your au cellphone.

紛失・盗難時の回線停止のお手続きについて(通話料無料)

受付時間 24時間(年中無休)

一般電話からは

au電話からは

 **0077-7-113**

局番なしの**113**番

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。(無料)

 **0120-977-033**(沖縄を除く地域)

 **0120-977-699**(沖縄)

故障紛失サポートセンター

紛失・盗難・故障について(通話料無料)

受付時間 9:00～20:00(年中無休)

一般電話／au電話から

 **0120-925-919**



やめましょう、
歩きスマホ。




キケン!
水ぬれ充電

濡れた状態での充電は、
異常な発熱・焼損などの
原因となり大変危険です。



モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず、マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

2018年11月第1.1版

発売元:KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)

輸入元:HTC NIPPON株式会社

製造元:HTC Corporation

htc